

未来の日本を創る  
**農業担い人**  
THE FUTURE of JAPAN CREATE



**PROFILE**

やまだ よしひこ  
**山田 好彦**さん(41歳)  
愛西市大井町



農業担い人

**より良い品質の  
栽培を目指して**

山田さんは愛西市で生花店を経営しながら、小菊をおよそ53アールで栽培する認定農業者です。栽培を始める以前は、仕入れた花を仏花や花束に加工して販売していました。加工用の花を仕入れに各産地へ出向き、そこで出会った農家の方との会話を通して農業に魅力を感じ、担い手不足にも貢献したいとの思いから、加工業を続けながら3年前に就農しました。

小菊の栽培を始めるにあたり苦労したことについて伺うと、休耕地で露地栽培を始めるにあたり、土壌の改良から始める必要がある、基本的な知識がなく何から始めたらいいのか、苗の購入方法はどうしたらいいのかと悩みも多かったそうです。露地栽培は天候に影響されやすく、また、病害虫に対しても消毒をこまめに行い対策をしていますが、水はけが悪かったりすると病気が出てしまうこともあったそうです。

栽培するうえで「作業効率化」をキーワードに、小菊の定植機や自動消毒機、収穫後の選別機の導入など機械化を進め、労働の負担軽減に積極的に取り組んでいます。機械化により確保できた労力や時間を活用し、より良い品質の小菊を栽培するために、葉の付き方や色、分子の仕方、花つきなど生育過程を念入りに管理しているそうです。

今後の目標について伺うと「出口のある農業を目指しているので、環境に配慮した循環型農業をはじめ、栽培・加工・販売に取り組み、6次化を確立していきたい」と話しました。

最後に消費者の方に向けて「こだわって栽培した品質の高い生花を、これからも届けていきたいです。手に取った時に、私たち自身の想いも届けばうれしいです」とメッセージをいただきました。

**有限会社 山田生花店**

好彦さんが山田生花店で働き始めたおよそ20年前、小売と葬儀用の生花の販売業から加工業へ移行しました。小菊の他にも椿などを取り扱い、その一部は愛菜耕房(グリーンセンター津島店)への出荷も行っています。

